レジメン名	wPAC(90)＋Bev
がん種	乳癌

一般名	投与量	単位
パクリタキセル	90	mg/㎡
ベバシズマブ	10	mg/kg

4週で1コース

ベバシズマブは、パクリタキセル中止後も、PDとなるまで2週間隔での維持投与が可能

week	1	2	3	4	5	6	7	8	同継続	2週	2週
	1コース				2コース						

治療内容

メイン

ルート確保用輸液は、所要時間に合わせて適宜速度調節する。
治療薬の投与中は中止可。
残破棄可。

ソリタT1(200ml)

ルート確保

ベバシズマブの投与中は止めておく。
投与終了後、異常がないことを確認し、抜去する。

ﾍﾞﾊﾞｼｽﾞﾏﾌﾞのみの維持治療では、ルート確保後、ここから開始

パクリタキセルには、ビールでコップ1杯程度のアルコールが含まれる

側管

開始時
レスタミンコーワ
5錠内服

デキサート　3A
ガスター　1A
生食(50ml)

経過時間

0　全開滴下

30分あける

:30

1　ⓥ 1時間

パクリタキセル
生食(250ml)

パクリタキセルには、0.22μm以下のメンブランフィルターを使用

:30

2　ⓝ 90分→60分→30分

ベバシズマブ
生食(100ml)
初回治療時の認容性が良好であれば次回より、60分→30分と短縮可

:30

3

:30　等速フラッシュ

生食(50ml)
残破棄可

4

:30

5

:30

6

:30

7